

# 1. 「<sup>すばる</sup>昴」

め と なに み  
1.目を閉じて 何も見えず

閉上眼睛 什麼都看不見

かな め あ  
哀しくて 目を開ければ

我悲傷的 睜開雙眼

こうや む みち  
荒野に 向かう 道より

除了通向荒野的道路之外

ほか み もの な  
他に見える 物は無し

看不見其他的任何東西

ああ くだ ち さだめ ほしたち  
嗚呼 碎け散る宿命の 星達よ

啊 零碎散落天際的命運之星啊

せめて ひそ み て  
せめて 密やかに この身を 照らせよ

至少默々地照耀在我身上

われ ゆ あおじろ ほほ(=ほお)  
我 是 行く 蒼白き 頬のままで

我将独行遠去 帶著依舊蒼白的面容

われ ゆ すばる  
我 是 行く さらば 昴 よ

我将独行遠去 再見了 昴星啊

い き むね なか  
2.呼吸をすれば 胸の中

如果 我吸一口氣進入胸中

こがらし な つづ  
風 は 吠き 続 ける

就感受到刺骨寒風 在心中悲鳴不已

わ むね あつ  
されど 我が胸は 熱く

但是 我心中充滿熱情

ゆめ お つづ  
夢を 追い 続 けるなり

仍然要繼續追遂我的夢想

あ あ な な ほしたち  
嗚呼 さんざめく 名も無き 星達よ

啊 在天際閃爍的 無名星群啊

あざ み お  
せめて 鮮やかに その身を終われよ

至少也要光彩亮麗的 結束這一生吧

われ ゆ ころ めい  
我也行く 心の命ずるままに

我将独行遠去 隨心所欲 了無羈絆

われ ゆ すばる  
我也行く さらば 昴よ

我仍將独行遠去 再見了 昴星啊

ああ <sup>ひ</sup> <sup>だれ</sup> <sup>みち</sup>  
\* 嗚呼 いつの日か 誰かが この道を

不知哪一天 誰會與我一様走上這條道路

ああ <sup>ひ</sup> <sup>だれ</sup> <sup>みち</sup>  
嗚呼 いつの日か 誰かが この道を

不知哪一天 誰會與我一様走上這條道路

われ <sup>ゆ</sup> <sup>あおじろ</sup> <sup>ほほ</sup>  
我 是 行 去 蒼 白 之 頰 の ま ま で

我將独行遠去 帶著依舊蒼白的面容

われ <sup>ゆ</sup> <sup>すばる</sup>  
我 是 行 去 さ ら ば 昴 よ

我將独行遠去 再見了 昴星啊

われ <sup>ゆ</sup> <sup>すばる</sup>  
我 是 行 去 さ ら ば 昴 よ

我將独行遠去 再見了 昴星啊

## 2. 「瀬戸の花嫁」

せと ひぐ ゆうなみ こなみ  
1. 瀬戸は日暮れて 夕 波 小波

瀬戸内海夕陽西下了 夕陽海波微波盪漾

しま よめ ゆ  
あなたの島へ お嫁に行くの

我將出嫁至你居住的島嶼上

わか だれ しんぱい  
若いと誰もが 心配するけれど

每個人都覺得還年輕 也會擔心的,不過

あい あ だいじょうぶ  
愛が有るから 大丈夫なの

因為有愛 所以也就沒關係

だんだんばたけ  
段々畑と さよ(う)なら するのよ

一階一階的梯田再會了

おさな おとうと ゆ な  
幼い 弟 行くな と泣いた

年幼的弟弟 哭著說 不要走

おとこ な  
男 だったら 泣いたりせずに

但身為男生不應哭泣呀!

とう かあ だいじ  
父さん 母さん 大事にしてね

爸爸! 媽媽! 要照顧呀!

みさきまわ ちい ふね  
2. 岬 回るの 小さな船が

小船 繞過海岸峭壁

う しま とお  
生まれた島が 遠くなるわ

出生的島嶼 已漸漸遠離

いりえ む みおく ひとたち  
入江の向こうで 見送る人 達に

對著海灣另一側的 送行親友們

わか つ なみだ で  
別れ告げたら 涙 が出たわ

告別之後 眼淚就盈眶而出啊

しま わた ゆ  
島から島へと 渡って 行くのよ

自此島往那島地渡越過

あなたと これから い 生きてく わたし 私

從此之後 將與你廝守一生的我

せと ゆうや あした は  
瀬戸は夕焼け 明日も晴れる

瀬戸内海的晚霞 明天也是放晴

ふたり かどで いわ  
二人の門出 祝っているわ

晴天在祝賀 我倆的人生出發了

あいさんさん  
3. 「愛 燦 燦」

あめ さんさん み お  
1. 雨 清 清と この身に 落ちて

綿綿細雨落在我身上

わずかばかりの うん わる うら  
運の悪さを 恨んだりして

稍微有個不順遂便怨恨時運不濟

ひと かな かな  
人は 哀しい 哀しい ものですね

人真是悲哀 悲哀啊

それでも か こたち やさ まつげ いこ  
過去 達は 優しく 睫毛に 憩う

即使如此 過往種種依然輕柔地停駐睫毛之上

じんせい ふしぎ  
人 生って 不思議なものですね

人生真是不可思議

かぜ さんざん み あ  
2. 風 散 散と この身に荒れて

風呼呼地強烈摧殘在身上

おも どお ゆめ な  
思い 通りに ならない 夢を失くしたりして

夢想失落 不能如願以償

ひと よわ よわ  
人は か弱い か弱い ものですね

人真是脆弱 脆弱啊

それでも <sup>みらいたち</sup> 未来達は <sup>ひとま</sup> 人待ち <sup>がお</sup> 顔して <sup>ほほえ</sup> 微笑む

即使如此 對未來的一切 仍面帶笑容等待著

<sup>じんせい</sup> 人生って <sup>うれ</sup> 嬉しいものですね

還是讓人滿懷歡喜的啊

3. <sup>あいさんさん</sup> 愛 燦 燦 と <sup>み ふ</sup> この身に降って

愛閃亮燦爛地降臨在身上

<sup>こころひそ</sup> 心 密かな <sup>うれ</sup> 嬉し <sup>なみだ</sup> 涙 を <sup>なが</sup> 流したりして

不禁悄然流下深藏心底喜極而泣的淚

<sup>ひと</sup> 人は <sup>かわい</sup> 可愛い <sup>かわい</sup> 可愛いものですね

人真是可愛 可愛啊

\* ああ <sup>か</sup> 過去達は <sup>やさ</sup> 優しく <sup>まつげ</sup> 睫毛に <sup>いこ</sup> 憩う

啊啊 過往種種依然輕柔地停駐睫毛之上

<sup>じんせい</sup> 人生って <sup>ふしぎ</sup> 不思議なものですね

人生真是不可思議

\* ああ <sup>みらいたち</sup> 未来達は <sup>ひとま</sup> 人待ち <sup>がお</sup> 顔して <sup>ほほえ</sup> 微笑む

啊啊 對未來的一切 仍面帶笑容等待著

<sup>じんせい</sup> 人生って <sup>うれ</sup> 嬉しいものですね

人生還是讓人滿懷歡喜的啊